

詳細説明資料（様式3）【公開用】

【区分】 共通工 - 構造物とりこわし工

技術の名称	再生クラッシャーラン製造工(脱着式)		
開発会社名	株式会社古垣建設、ウエダ産業株式会社		
NETIS登録番号	登録済み:登録番号[HK-080003-A]	未登録	
申請先の地方整備局	北海道開発局		
分類	〔レベル1:共通工〕、〔レベル2:構造物とりこわし工〕、〔レベル3:その他〕、〔レベル4: 〕		
使用可能な工事の種類	構造物とりこわし工(コンクリート塊、殻の発生するもの) 構造物とりこわし工(コンクリート塊、殻の発生するもの)		
比較対象とする従来技術	技術名称	処理施設への運搬・処理処理施設への運搬・処理	
	選定理由	当該工法は、一般的な処理工法であり、小規模現場にも対応するため、比較対象の従来技術として選定した。	
その他			

評価項目			申請者記入欄			備考
大	中	小	従来技術のコスト	申請技術のコスト	従来技術との比較<結果>	
経済性	イニシャルコスト	積込み・運搬費、処分費	886,400円/100m3	269,000円/100m3	約69.7%向上	
	ランニングコスト		-	-	-	
	その他		-	-	-	
	トータルコスト		886,400円/100m3	269,000円/100m3	約69.7%向上	

評価項目			申請者記入欄			備考
大	中	小	現行基準値等	申請技術について実証により確認した数値等	従来技術との比較<結果>	
安全性 <small>労働安全衛生法上の安全性等は含まない。</small>	構造	・破砕機(アタッチメント)	-	・破砕口寸法:W700mm*H485、履帯重量:2.5t、出力:61.3kw、油圧:24.5MPa	-	
		・破砕方式	-	・直結した油圧モーターで同一形状のジョー歯を2枚対向配置し固定歯と動歯で被破砕物を圧砕	-	
	施工段階 <small>仮設工については施工段階の安全性は含まない。</small>	・作業員の安全、第三者への安全	・「土木工事安全施工技術指針」の「第1章総則、第2章安全措置一般、第6章運搬工、第19章構築物の取りこわし工事」に記載の項目	・現行基準を守り施工	・従来技術と同等	
耐久性	物性	・破砕刃の消耗	-	・破砕刃の減りが5mm以上で交換(想定約1,000h/毎)	-	
	形状	・動力源	-	・市場にあるバックホウ(山積0.8m3、共用配管機)に取付ける	・バックホウ(山積0.8m3、共用配管機)が必要	
	能力	・施工能力	・バックホウ+ダンプトラック	・コンクリート製造能力42m3/日 数値は破砕前の体積	・日当り施工能力に限度がある	
品質・出来形	材料	・とりこわし寸法(積込運搬時)	・w350mm*w350mm*t350mm以下	・w350mm*w350mm*t350mm以下	・従来技術と同等	
	施工	・作業	・積込機械+ダンプトラックで運搬処理	・作業操作に於いて熟練技術を要さない(バックホウの運転手であれば操作は容易)	・施工の難易度について従来技術と同等	
	完成物	・再生骨材(RC40) アスファルト舗装下層路盤材	・路盤材料の品質規格:75μmふるい通過量15%以下	・試験結果:75μmふるい通過量2.23%	・再生骨材の使用用途によっては、品質管理試験が必要	
施工性	合理化	・再生骨材の調達	・購入	・コンクリート製造能力42m3/日 数値は破砕前の体積	・日当り施工能力に限度がある	
	現場条件	・作業場所の状況	・ダンプ搬出可能であれば特に条件に左右されない	・機械設置面積15㎡程度あれば作業可能	・現場外へ搬出するにも積込み面積が必要なことから従来技術と同等	
	適用範囲	・適正処理	・「廃棄物処理法」の「第一章総則、第三章産業廃棄物、第四章雑則、第五章罰則、附則」	・現行基準を守り施工	・法に基づき処理するので従来技術と同等	
	自然条件	・天候	・特になし	・雨天時の視界不良、強風時の舞塵等良識の範囲で施工	・従来技術と同等	
	施工管理	・施工管理	・ダンプの積載重量、運搬路の管理	・製造工程、構造が単純なので安定した製品が常時製造される	・作業半径が小さく単純作業なので従来技術より向上	
	難易度	・習得度	・バックホウ運転手+ダンプトラック運転手	・作業操作に於いて熟練技術を要さない(バックホウの運転手であれば操作は容易)	・施工の難易度について従来技術と同等	
	周辺環境への影響	社会環境	・騒音、振動	・騒音規制値:85dB以下 ・振動規制値:75dB以下	・騒音測定値:67dB ・振動測定値:52dB	・一般測定値にて従来技術と同等
作業員環境		・作業員環境	・安全の確保	・特殊運転手1名+特殊作業員1名で施工可能	・運搬車両の往来が少なく済み、少人数での単純作業なので従来技術より安全性が向上	

その他	独自基準等の有無	技術指針、設計基準等 積算基準等 施工管理基準等	有(自社基準)
			有(自社実績による歩掛)
			有(自社施工要領書)
	その他		